

(株) 錦戸電気カップ争奪フットサル大会2019 開催要項

1. 目 的

「Player's First!」の観点から、全てのプレーヤーに年間を通じたプレー機会を提供することで、リーグ戦文化の定着と育成、全ての選手が「公式戦」に出場できることによるサッカーファミリーの増加、サッカー文化の浸透を図ることを目的として、本事業を実施する。

2. 主 催 公益財団法人 日本サッカー協会／公益財団法人 北海道サッカー協会

3. 主 管 苫小牧地区サッカー協会

4. 日 程 10月～1月

5. 会 場 苫小牧市内各小学校体育館 他

6. 協 賛 株式会社 錦戸電気

7. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

②前項のチームに所属する2008年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(2) サッカーチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録された単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

②前項のチームに所属する2008年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

(3) 選 手

選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4) 選手及び役員は、本大会において複数のチームで参加できない。

(5) 次の条件を満たすことを前提として、4年生以下の選手（女子登録している選手を含む。）の参加を認める。

①5年生の選手不足や交代選手が必要な場合であること。

②目的である「5年生選手の試合機会確保」を損なわない選手起用であること。

(6) 5年生選手が出場機会を享受できるよう、次の全ての事項を義務付ける。

①本要項制定時点で5年生が8名以上所属するチームは2チームエントリー、12名以上所属するチームは3チームエントリーを認める。

②ベンチ入りした5年生選手は試合数、試合当たりの出場時間について、極力平等な機会が与えられなければならない。

③ベンチ入りした5年生選手は試合数、試合当たりの出場時間について、4年生以下の選手より優遇されなければならない。

8. 競技規則

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規程を定める。

(1) ピッチ

- ・大きさ：サイズは原則として 32m×16m
 - ・センターサークル：半径 2.5m
 - ・ペナルティーエリア四分円の半径：5m
 - ・ペナルティーマーク：5m
 - ・第 2 ペナルティーマーク：8m
 - ・交代ゾーンの長さ：4m
 - ・タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ 4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
- ・フリーキック：4m
 - ・コーナーキック：4m
 - ・キックイン：4m
- (3) 使用球は、フットサル 3 号球ボールとする。
- (4) 競技者の数
- ・競技者の数：5 名
 - ・交代要員の数：制限しない
 - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は役員 4 名以内、選手の数に制限しない。
- (6) 試合時間は 20 分（前後半各 10 分、ハーフタイムのインターバル 3 分）のランニングタイムとする。
- (7) トーナメント戦において勝敗が決定しない場合は、PK 方式により勝敗を決定する。ただし、決勝戦においては、10 分（前後半各 5 分）の延長戦を行い、なお決定しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。
- (8) タイムアウトは適用しない。

9. 競技方法

- (1) 1 グループ 6 チームでリーグ戦を行ない、その順位によりトーナメント戦を行う。
- (2) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (3) リーグ戦における順位決定方法は、勝ち点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝ち点は、勝 3、引分け 1、負 0 とする。ただし、勝ち点合計が同点の場合は、以下の順序により決定する。
- ①当該チーム間の対戦成績
 - ②当該チーム間の得失点差
 - ③当該チーム間の総得点数
 - ④グループ内の総得失点差
 - ⑤グループ内の総得点数
 - ⑥PK 方式（1 チーム 3 名による 3 本ずつのキックを行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点を挙げるまで行う。）により決定する。
- (4) 順位決定トーナメントにおいては別途組合せ表参照のこと。

10. 組合せ 組合せは苫小牧地区サッカー協会第 4 種委員会事業委員会において決定する。

11. 帯同審判

- (1) 参加チームは、公認フットサル審判員を帯同させること。
- (2) 帯同審判員は、審判割当によりその業務に当たるものとする。
- (3) 帯同審判員は、役員と兼ねることはできる。

12. 競技者の用具

(1) ユニフォーム

- ①フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム

ーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を各試合必ず携行すること。

- ②チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④シャツの前面、背面に選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。
- ⑥ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告拠出料などの経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑦その他のユニフォームに関する事項については、（公財）日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。

（2）靴

靴底は接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。）

（3）ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

1 3. 負傷及び事故の責任

- （1）大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行なうこととする。
- （2）選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

1 4. その他

- （1）選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- （2）震災等、不測の事態が発生した場合には、事業委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- （3）競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては採取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- （4）選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。
- （5）会場の確保が厳しい観点から会場確保が難しい場合は苫小牧地区サッカー協会4種委員会の役員により協議し複数チームエントリーに制限をかける場合がある。この決定事項は最優先される。